

平成23年火災・救急・救助概要（概数）

小松市消防本部

- ・住宅火災及び死傷者が増加
 - ・ストーブによる火災原因が過去10年間で最大
- （火災概要）

平成23年の総出火件数は34件で昨年と比べると9件の増加であり、建物火災が22件で4件の増加、そのうち住宅火災（専用住宅、共同住宅及び併用住宅）は13件で6件の増加でした。

また、火災による死傷者は12人（死者4人、負傷者8人）で、うち住宅火災による死傷者は10人（死者2人、負傷者8人）でした。なお、住宅火災による死者2人は、いずれも65歳以上の高齢者でありました。

出火原因別にみると、「放火・放火の疑い」が7件でトップ、続いて「ストーブ」が4件、「こんろ」、「落雷」が各2件となっています。

損害額は、約1億4千8百万円で、昨年と比べほぼ同額でありました（建物火災1件分は調査中）。

住宅用火災警報器の設置については、住宅火災13件のうち6件の設置でした。

区分	年	平成23年	平成22年	増減
火災件数	合計	34	25	9
	建物火災	22	18	4
	林野火災			
	車両火災	3	2	1
	船舶火災			
	航空機火災			
その他火災	9	5	4	
焼損棟数		33	25	8
り災世帯数		14	12	2
面焼積損	建物床面積（㎡）	2,341	1,817	524
	建物表面積（㎡）	63	51	12
	林野（a）			
損害額（千円）別	合計	147,110	147,872	▲ 762
	建物	※1 146,275	147,327	▲ 1,052
	車両	52	539	▲ 487
	航空機			
	その他	783	6	777
死者数		4	1	3
負傷者数		8	3	5
火災発生間隔日数（日）		10.7	14.6	▲ 3.9
焼火損元程度	全焼	9	4	5
	半焼	1	3	▲ 2
	部分焼	5	3	2
	ぼや	7	8	▲ 1
火災原因	放火・放火の疑い	7	5	2
	ストーブ	4	2	2
	こんろ	2	2	
	落雷	2	1	1
	上記以外	19	15	4
住宅用火災警報器設置件数		6	3	3

※1 建物火災1件の損害額は調査中のため未計上

救急出動件数は過去最高（救急概要）

平成23年の救急出動件数は、昭和39年に救急業務を開始して以来最多の3,339件となりました。前年に比べ143件、前5ヶ年の平均値3,118件に比べると221件増加しています。1日に平均すると9.1件の出動となり、10年前に比べ約30%も増加しています。搬送人員は3,191人で、小松市民の約34人に1人が搬送されたこととなります。搬送人員の56.1%が高齢者(65歳以上)となっており、過去最高の1,791件となりました。

区分		年	平成23年	平成22年	増減
救急出動件数	合計		3,339	3,196	143
	急病		1,944	1,878	66
	交通事故		460	425	35
	一般負傷		481	475	6
	転院搬送		333	297	36
	上記以外		121	121	
救急搬送人員	合計		3,191	3,066	125
	急病		1,823	1,774	49
	交通事故		478	459	19
	一般負傷		468	460	8
	転院搬送		332	295	37
	上記以外		90	78	12

救助概要

平成23年救助出動件数は56件で、前年に比べ7件増加しています。出動の約8割は交通事故によるものです。

救助活動件数は32件、救助人員は49人となっています。

区分		年	平成23年	平成22年	増減
出動件数			56	49	7
活動件数			32	31	1
救助人員			49	37	12